



らいかい恵子 議員便り 259号

合志市市議会議員 来海恵子 合志市幾久富 1642-38 ☎ 090-9655-1143

新型コロナウイルスが5類に移行して、4年ぶりの夏祭りや敬老会等が開催され賑わっていました。その反面、春先からインフルエンザが流行っているので、コロナ対策同様に手洗い・うがいは習慣化して健康が1番と実感している毎日です。来海は、毎月一人で議員だよりを8000枚配っています。

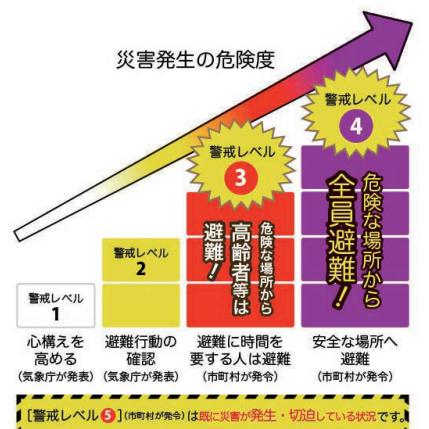


【令和5年9月議会一般質問から抜粋】

小中学生が健やかに育つために!

災害時の休校の基準は?

来海:今年の6月だったと思いますが、テレビでは合志市もレベル4に入っていて早めの避難を促していました。教育委員会のみなさんが、早朝から市内の小中学校の周りを見て、安全を確認していたのは知っています。楓の森は道路状況がよくなくて休校、他は通常通りで心配なら保護者の判断で休んでもいいと一斉メールが流されました。通学時が一番雨がひどくて休んだ子もいたし、保護者の方が車で送って行かれたケースも多かったと聞きました。災害時の休校の基準について、設けているのかどうかを伺います。



教育審議員:台風接近や大雨、あるいは天候急変などの災害発生が予測される場合には、毎回、教育委員会で対策会議を開いて、気象庁の情報及び市の避難所開設等の状況を踏まえ、市内全校に臨時休業や遅延登校などの措置をお願いしています。

来海:毎回会議を開いているということですが、私は避難は空振りが一番正解だと思います。中学生で、防災士もいます。国が決めた基準は、とても大事です。前日から予測も出ていますし、テレビなどずっと注意喚起を促しているような時は、一度災害時の休校の基準を決めておくべきだと思いますが、その点についてもう一度伺います。

教育審議員：対策会議で今後も引き続き、慎重に判断をして対応していくことが必要だと思っています。措置をしない場合も、子どもたちの家庭の状況や家の環境条件等、様々な危険な状況もありますので、保護者の判断で登校を待機したり、遅延の登校をしたりすることをお願いしながら、子どもたちの安心・安全を確保していきたいと思っています。

熱中症対策について

来海：夏休みに山形県の女子中学生が部活の帰りに熱中症で亡くなったニュースを聞いて、すごくショックでした。その直後に、国連総長が「沸騰化の時代」と警告されました。本市でも先日熱中症で亡くなられたり、救急車で運ばれた高齢者の方がいらしたと新聞で知りました。また、子どもたちにも熱中症になった子がいたと聞いています。そこで、夏休みの部活や学童保育の熱中症対策を話し合ったのかを伺います。

教育審議員：毎年、市の校長会を通じてお願いしています。本年度も7月の校長会議の折に、夏休みの中学校の部活動について、早い時間帯の活動と、活動時間も準備や片付けを含め1時間半以内程度ということでお願いしています。併せて、活動前後の健康観察をはじめ、活動中のこまめな水分補給、また、「熱中症警戒アラート」を活用した「暑さ指數」の指針に応じた対応と熱中症予防に努めるようお願いします。

健康福祉部長：放課後児童クラブについては、各学童クラブと直接の話し合いは行っていませんが、毎年注意喚起の連絡をしています。本年は6月28日に県からメールを受信し、7月10日に全ての放課後児童クラブにメールによる周知を行っています。内容は、改正気候変動適応法の概要や、熱中症対策実行計画等です。

来海：小学校によっては、夕方4時過ぎから野球の練習がありました。まだ、夕方の4時は暑いです。ただ、指導の先生やコーチの都合かもしれません。熱が蓄積して、夜中に熱中症になる場合もあるそうです。一概には言えませんが、朝から熱中アラームが発令されている時は休む勇気等も、教育委員会から各小中学校の部活に注意喚起をお願いします。

来海：学童保育ですが、エアコンが7月に壊れて、暑いのに100人ぐらいの児童が学童保育の部屋にいるのに、修理に4、5日かかったそうです。学童保育は放課後です。多目的ルームや教室を気楽に「校長先生、緊急事態ですから使用させていただけないでしょうか？」と、お願いできるような関係があれば違ったと思います。学校は教育委員会、学童保



育は子育て支援課と管轄が違うので、以前から連携がうまくいかないところがありました。ぜひ、緊急事態には学校の施設を借りれる等、連絡協議会みたいな話し合いの場を教育委員会と持ってほしいと思いますがいかがですか。

健康福祉部長：南ヶ丘小なかよしクラブ1のエアコンが7月26日に故障して、すぐ修理を手配し8月1日に修理が完了したと聞いています。その間は、隣のクラブ2のドアを終日開けて冷気が流れるようにしたり、サーフィンの前に氷を置いて対応しました。今後は緊急時の学校施設の利用に関しても教育委員会と連携して対応を検討したいと思います。

来海：小中学校が12校あるので、体育館にエアコンを付けるには多額の費用がかかるので冷風ミストをつけられたらいかがでしょうか？9月も、まだまだ暑いです。小中学校の部活や外で体操をしたとき、日陰に冷風ミストをつけると熱中症対策になると思います。プールも、9月は使いません。検討していただけないでしょうか。



教育審議員：ミスト設置のご提案ありがとうございます。学校体育館へのエアコン設置については、ご指摘のとおり多額の費用が発生します。比較的安価にできるのではないかとご提案のミスト設置も含めて、施設整備については今後検討したいと考えます。

SNS教育について

来海：小学高学年になると、スマホを持っている子も多いです。先日、西合志南中でSNSの教育が熊日と連携してありました。ぜひ、他の小中学校でも、裸の写真を撮って送ったらSNS内で一生残るとか、簡単にユーチューブに流すとか、裏アカウントでいじめるなど、良いところもあるけど恐さやマナーを教えるということは大事だと思いますがいかがですか。



教育審議員：SNSについての教育は、これまで学校の情報教育を中心とした中で、SNSを利用する際に、配慮すべきこととして相手の立場や自分を守るということが大事だということを適宜指導しています。他にも警察等との連携による研修や、外部講師の招聘、文部科学省の動画を活用するなどの取り組みをしている学校もあります。教育委員会からもタブレットを貸し出す際には、子どもたちと保護者に対して、情報モラルの啓発を行っています。また、PTAにも子どもたちのスマホの利用について、申し合わせとして取り組んで

いただいている。しかし、議員が言われるよう、子どもたちがSNSの情報モラルについて主体的に学ぶことは、子どもたちが気づき、自ら考え、正しく行動する力の育成に役立つものだと思います。さらに保護者とも連携をしながら、安心・安全なSNSの取り扱いについて、主体的に学ぶことができるような学習をお願いしていきます。

タブレット授業が苦手な子どもへの対策は？

来海：タブレット授業を開始して3年目です。タブレット授業について行けない児童生徒が出てきていますが、対応を伺います。

教育審議員：本年度はICT支援員を1人増やし2人にして、昨年度は各学校月8回を、本年度は各学校月10回行って教えています。本年度は授業での活用をお願いして、タブレット授業について行けない児童・生徒へのサポートに入っています。ICT支援員が全ての児童・生徒をサポートできるわけではなく、教育委員会としても各週の会議や研修会、学校訪問を通じて、各学校についていけない子どもたちが出ないよう丁寧に対応をお願いしていきます。

ランドセルについて

来海：朝の交通指導で交差点に立っていると、毎年1年生が肩や腰が痛い、ランドセルが重たいって泣く子がいます。持ってみると、水筒やタブレットもあり重いです。中には、保護者の方がランドセルを持って来られる方もいます。ランドセルを購入するのを楽しみにされていますが、新入生説明会の時に選ぶのは保護者ですから、選択肢の一つにリュックサックを重さ対策の中で考えていただけないでしょうか。



教育審議員：ランドセルの使用には、特に決まりはありません。ランドセルは、中に仕切りがあり機能的であることや、両手がふさがらないことで前方への転倒時の危険回避、後方への転倒時の緩衝材として、また、タブレットなどの教材を保護する効果が期待されます。保護者からランドセル使用について相談があった場合、これまで個別対応の配慮を行っています。ランドセルの重さが課題となる中、学校に教科書などの勉強道具を置く「置き勉」の推進と併せて、ランドセルの購入と同様に、リュックサックの購入も保護者の選択肢の一つとして選べるように校長会等で説明したいと思います。

〒861-1112 合志市幾久富 1642-38 来海恵子 FAX 096-248-8956

Mail rai-ok@nifty.com http://raikaikeiko.info/

